

スタンフォード大学救急救命科准教授

御手洗 剛氏 講演会

日時 2018年 7月 2日(月)

1部 17:00~

・Submassive PEにおける残されたtPAの役割とは

2部 18:00~

・Massive PEにみるGolden Hours in Critical Care
・救急医療に求められる集中医療の新しい形

講演会終了後、懇親会を予定しております。(有料)

会場 東北大学医学部 星陵会館 大会議室

申込 ご参加希望の方は、下記メールアドレスまでお申込み下さい。
懇親会参加希望の有無を申込み時にご記入下さい。
asu@crieto.hosp.tohoku.ac.jp

どなたでもご参加
いただけます

スタンフォード大学
救急救命科 准教授
御手洗 剛氏
TSUYOSHI MITARAI



- 1998年 スワースモア大学経済専攻 卒業
- 2002年 ローチェスター大学医学部 卒業
- 2007年 米国内科専門医 取得
同年 メリーランド大学、Robert J. Doherty教育賞 受賞
- 2008年 米国救命救急医専門医 取得
- 2009年 集中医療フェロシップ 終了
同年 米国集中治療専門医 取得
- 2015年 ヘンリー・J・カイザーファミリー財団スタンフォード大学
医学部臨床指導優秀賞 受賞
- 2017年 Stanford Emergency Critical Care (ECC) Program 設立

17歳のときに渡米し、大学では経済を専攻するも昔から興味があった医学の道に進む。内科、救命救急、集中治療の専門医として活躍し、これまでに臨床や教育に関する数々の賞を受賞する。現在も指導医としてスタンフォード大学病院の救急科とメディカルICUで勤務。2017年には救急医療現場で集中医療を最適化するために全米に先駆けて人材配置型のECCプログラムを立ち上げる。今回は御手洗氏の専門である高リスク肺塞栓症に焦点をあてつつ、今米国の救急医療に求められている集中医療についてご講演いただく。